

資料 2 - ①

おいらせ町は、太平洋にそそぐ奥入瀬の清流と八甲田をのぞむ緑の平野に育まれた自然豊かな町です。(自然・現状)

社会環境が大きく変化する中、**私たちはまわりに流されることなく**、先人が育んできた伝統・文化・産業・自然環境を大切に守り育て、これらを子どもたちに伝えていかなければなりません。(課題)

そのためには、「地域のことは地域が主体となって**考えていく**」という自治の原点に立ち、町民・行政・議会がともに手をとり合い、明るく元気なまちづくりを進める必要があります。(理念・目的)

心と体を鍛え、自然の恵みに感謝できる子どもたちを育て、働く喜びを知り、思いやりのある人々が暮らす田園定住都市・心ふれあう「おいらせ町」をつくるため、ここに自治基本条例を制定します。(めざすまちの姿)

【補足意見】

- ◇補完性の原則（県や国は、身近な地域で解決できない問題に限り権限を行使する。）について盛り込むべきではないか。
- ◇第1段落に町民、町としてのこれまでの歩み・現状を盛り込んだ方が良い。
 - 「私たち（町民）は、伝統や文化や産業を大切にしながら（育みながら）暮らしてきた」という表現ではどうか。その上で、第2段落にあるように、伝統や文化や産業を子ども達に伝えていく責任があるという組み立てにすると、まとまりがよくなるのではないか。

コメント [01]:

①国の方針が良いか悪いか、町民自身で考えること、自分達の地域ではどうしたいのかを意識する姿勢が大事であり、この表現にはそういった意味が含まれていると考える。是非この表現は残したい。②「まわりに流される」という表現が抽象的である。例えば、「物事の本質を見極め」などの補足説明が必要

コメント [02]: ①「取り組む」としてはどうか。住民同士、町と県など、様々な主体が手を組んで問題解決にあたるという姿勢が大事である。

②「行動する」という言葉を盛り込みたい。

コメント [03]: ①「私たちは、心と体を鍛え、自然の恵みに感謝し、子どもたちを健康やかに育て」としてはどうか。

コメント [04]: たつき台（9月4日時点）には、「誇りをもって人生を送る」という表現があったが、これを生かして、「思いやりと誇りをもって暮らす」としてはどうか